

令和 7 年度「香美市自主防災組織みんなで避難訓練」実施要領

1 目的

南海トラフ地震の発生を想定した震災対応訓練（避難訓練等）を香美市の自主防災組織が一斉に実施することにより、災害時における適切な行動の訓練を行うことで地域防災力の向上を図り、被害の拡大防止（減災）に努めます。なお、この訓練は、避難後の人数集計・報告訓練を兼ねているため、別紙連絡シートの内容を防災対策課まで必ずご報告ください。

2 日時

令和 7 年 10 月 26 日（日） 午前 9 時 00 分

※ 午前 9 時に防災行政無線放送とともに、携帯電話にメールで訓練情報が送信されます。

昨年まで実施していた消防サイレンの吹鳴はありません。

※ 各自主防災組織の判断により、訓練を別日に実施することが可能ですが、避難開始の合図はありません。（その場合、集計報告は平日の日中に実施してください。）

3 訓練主体・参加者 自主防災組織（地域住民）

4 訓練想定

令和 7 年 10 月 26 日（日）午前 8 時 30 分頃、四国沖の南海トラフを震源とする地震が発生した。高知県内では、一部地域では震度 7 を観測し、沿岸部、平野部の広い範囲で最大震度 6 強から 6 弱、山間部でもほとんどの地域で最大震度 6 強から 6 弱を観測した。

沿岸部には、地震発生の数分後から 6 ～ 8 m、ところによっては 10m を超える大津波が繰り返し押し寄せ、この津波により多くの家屋等が流出した。また、県内全域で耐震性の低い家屋が多数倒壊し、各地で火災が発生している。

午前 9 時に地震に関する防災行政無線放送、緊急速報メールが流れた。我が家では、地震発生直後からガスの元栓、ブレーカー遮断、ヘルメットや持出品の確認等必要な準備を行っており、避難の準備が整ったため、安全な場所への避難を開始する。

※ 9 時の緊急速報メールの着信音は、緊急地震速報の警告音とは異なり、市から避難情報をお知らせする着信音が流れます。緊急地震速報の警告音は右の QR コードから確認することができます。



（参考）ソフトバンクホームページ

5 訓練の中止について

訓練当日に災害が発生するおそれがある場合、または気象警報等が発表された場合等は、香美市の判断により訓練を中止します。

また、自主防災組織都合により訓練を中止される場合、香美市防災対策課（TEL：0887-52-8008）までご連絡をお願いします。

香美市自主防災組織みんなで避難訓練 訓練チェックポイント

1 地震発生時の安全行動・避難の準備

8時30分に南海トラフ地震が起きたと想定し、各自が現在いる場所において、地震の揺れに対する安全行動をとる。(南海トラフ地震は2～3分の間揺れが継続するといわれています)
揺れがおさまった後、家の火の元やブレーカーの遮断確認、緊急持出品のチェックを行う。

- ① シェイクアウト訓練の実施（まず低く・頭を守り・動かない）
- ② 家の中に自分に向かって倒壊してきそうな家具等はないか。
- ③ 揺れがおさまった後、火災の発生を予防する必要な行動ができたか。
- ④ 避難時の持出品は、適した位置に準備できていたか。また、季節等を配慮した物品が用意できていたか。

2 避難訓練

9時00分の防災行政無線放送、緊急速報メールを合図に、各自主防災組織が作成した、防災マップに記載されている避難経路を利用し、緊急時集合場所または指定緊急避難場所へ避難する。

- ① 避難中は、隣近所へ声がけを行ってください。
- ② ブロック塀や老朽家屋などの危険個所を避けて避難する。
- ③ 上方からの落下物等に注意し避難する。
- ④ 要配慮者を想定した避難方法を各自主防災組織で実施する。

3 情報伝達訓練

避難者数を確認する。資料2の「避難者情報等連絡シート」へ記入し、その内容について、防災対策課へ連絡する。(訓練当日の10月26日は、9時から12時までの間に連絡して下さい。防災対策課が通話中の場合は、定住推進課の番号へ連絡してください。)

- ① 香美市防災対策課 直通 0887-52-8008
- ② 回線数を増やして対応中（定住推進課直通） 0887-53-1061
- ③ 防災行政無線を使用し報告することも可能です 1100-001

※ 連絡後、避難者情報等連絡シートは捨てずに防災会で保管してください。

4 各自主防災組織で計画している訓練を実施

炊出し訓練・資機材点検等、各自主防災組織で計画している訓練を実施する。

避難後は地域の皆さんで話し合い、各自の気づきや困りごと等を共有することも、防災対策を進めるうえで効果的です。

※ 独自訓練を計画していない自主防災組織はここで解散